

まずは、チェックシート！

何はともあれ、自己診断してみませんか？

次のチェックシートの質問項目を読み、あなた自身やあなたの学校の様子に当てはまるものに、チェックを入れてみましょう。

check
01

自校の教育指導計画の「言語活動の充実のための計画書」を見たことがある。

check
02

言語活動に関して、どのような悩みを抱えているか、職員が共有している。

check
03

どうして言語活動の充実が言われるようになったのかを知っている。



check
04

言語活動を充実させるにはどうすればよいか、理解している。



check
05

あなたの学校の生徒は、自分の考えをわかりやすく他者へ伝えることができる。

check
06

生徒の思考を促すために、比較させたり分類させたりする授業を行っている。

check
07

言語活動とは、どのようなことなのかを知っていて、説明することができる。

check
08

言語活動を充実させる学習活動の例を挙げることができる。



check
09

どのような活動が言語活動なのか例を挙げて違いを説明することができる。

check
10

自分の担当する教科で示されている言語活動を、確認したことがある。



check
11

どのように授業を構想すると、言語活動が充実するかわかっている。

check
12

授業に話し合う活動を取り入れて、生徒の意見交換を活発にしている。



check
13

「思考・判断・表現」の観点を、どのように評価するのか理解している。



check
14

自分の教科の年間指導計画に、言語活動をきちんと位置付けている。



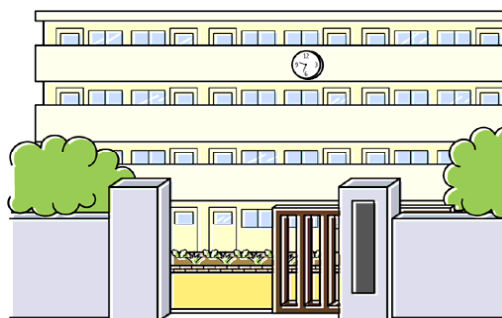
check
15

自分の担当する教科・科目において、どのように言語活動の充実を図ったらよいのか、十分に理解し、実践している。



さて、いかがでしょうか？

すべての項目にチェックが入った方は、その素晴らしい実践を継続しつつ、授業改善を進める周囲の先生方の範となってください。



チェックが入らないものがあつた方は、すっきりできないのではないのでしょうか。そこで、モヤモヤを解消するためにも、チェックを入れられなかった項目について、以下のページを開いて確認してください。そして、それらを生かして授業改善を図っていきましょう！

check 01 ⇒ P 8

check 03 ⇒ P 11

check 05 ⇒ P 12

check 07 ⇒ P 14

check 09 ⇒ P 16

check 11 ⇒ P 20

check 13 ⇒ P 23

check 15 ⇒ P 26

check 02 ⇒ P 10

check 04 ⇒ P 12

check 06 ⇒ P 13

check 08 ⇒ P 15

check 10 ⇒ P 19

check 12 ⇒ P 21

check 14 ⇒ P 24